



平成 17年 3月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16年 7月 30日

上 場 会 社 名 ユニ・チャーム株式会社

(コード番号 : 8113 東証第 1 部)

(URL http://www.unicharm.co.jp/)

代 表 者 代表取締役 社長執行役員 高原 豪久

問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 丸山 茂樹

TEL (03) 3447 - 5111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日 ~ 平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	60,278	4.5	8,069	2.6	8,199	1.0	4,115	0.2
16年3月期第1四半期	57,665	-	7,864	-	8,120	-	4,105	-
(参考) 16年3月期	240,109		30,726		31,120		16,239	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	61	90	-	-
16年3月期第1四半期	60	84	-	-
(参考) 16年3月期	240	26	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年3月期第1四半期	205,725	126,764	61.6	1,906	96
16年3月期第1四半期	193,670	116,873	60.3	1,732	09
(参考) 16年3月期	209,002	123,708	59.2	1,858	63

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	2,889	4,151	625	43,788
16年3月期第1四半期	7,414	7,536	918	40,513
(参考) 16年3月期	36,915	25,836	7,933	44,434

[参考]

平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日）

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	120,000	15,800	8,700
通 期	252,000	32,500	17,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 261円 75銭

上記の予想には、本資料の発表現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成16年4月1日から平成16年6月30日まで）におけるわが国の経済は、概ね順調に拡大いたしました。個人消費は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下で、当社は、国内事業においては、それぞれの主力事業分野において高付加価値製品の市場投入や積極的な販売・マーケティング活動によって順調に収益を拡大いたしました。海外事業では、東アジアを中心に順調に業容を拡大しております。この結果、売上高は前年同期より26億円増加して602億円（前年同期比+4.5%）、営業利益は前年同期より2億円増加して80億円（前年同期比+2.6%）、経常利益は0.7億円増加して81億円（前年同期比+1.0%）、当第1四半期純利益は0.1億円増加して41億円（前年同期比+0.2%）となり、当初計画通りの第1四半期進捗で推移しております。

セグメント別の概況

1. パーソナルケア事業

ベビーケア事業

国内では、市場価格は下げ止まりの兆しを見せ始めたとはいえ、依然として厳しい状況にあります。

当社は、このような環境の下でもリーディングカンパニーとして、消費者の皆様により高い付加価値を提供していくために、主力商品『ムーニー』ブランドでは、本年3月までに『ムーニー』、『ムーニーマン』全品のリニューアルを完了するとともに、市場創造型の新製品『ムーニーマン 水あそびパンツ』を本年4月に発売し、市場の活性化と収益の拡大に努めてまいりました。

一方、海外では、東アジア地域参入各国（台湾・中国・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン）において、積極的な販売・マーケティング活動を展開し、市場拡大とテープタイプ『Mamy Poko』、パンツタイプ『Mamy Poko Pants』のブランド浸透が奏効し順調に売上が伸びました。

フェミニンケア事業

国内では、生理対象人口の減少により、市場は低調に推移しております。

しかしながら、当社は、生理用品唯一の総合メーカーとして「女性の快適を科学して自由を創造する」という事業理念のもと、『ソフィ』ブランドから安心と快適を実現する製品の開発・改良に注力し、市場の活性化を図りました。

生理用ナプキンでは、『ソフィ ワイドガード』シリーズの新製品『ソフィ ワイドガード 350』、また、ショーツになじみ、つけた瞬間から存在さえ感じさせない薄さ0.7mmのパンティライナー新製品『ソフィ パンティライナー^{ゼロ}体感』等の市場創造型新製品を4月に発売して積極的なマーケティング活動を展開しました。

また、このような事業活動に加え、子供と保護者が共に生理について学びあうサイト『はじめてからだナビ for girls』（<http://www.unicharm.co.jp/girls/>）を本年5月にオープンしました。サイトの開設に合わせて、学校の初経教育等でも活用していただける、初経についてのアドバイス小冊子として『はじめてからだ BOOK for girls』、『自分のからだの

ことだからちゃんと知ろうね!』ポスターを東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の小学校全校（公立学校、私立学校）約 4,000 校に無料で配布しました。当社では、生理の正しい情報、適切な対処方法はもちろん、生理用ナプキンからパンティライナーまでの最近の商品の紹介・子供のライフスタイルに合った適切な商品の選び方、使い方も説明し、生理用品のフルラインを持つメーカーならではの初経教育に取り組んでおります。

海外でも、東アジアでの展開を加速するために、積極的に販売・マーケティング活動を行い、市場拡大と『Sofy』ブランドの市場浸透を図っております。

ヘルスケア事業

当期における国内ヘルスケア事業は、成長市場における競争激化の下でも、順調に業容を拡大いたしました。高齢化が加速する中で市場の確実な成長の下において、当社は「生命（いのち）の歓びを追求する」をヘルスケア事業理念として、心と身体の寝たきりゼロを目指した、『ライフリー』ブランドの開発・改良に注力してまいりました。本年3月に発売した、長時間、体を起こしていても尿もれを防ぐことができる紙オムツ『ライフリー 座っても安心尿とりパッド』では、介護者・要介護者双方の立場から日中の離床促進をサポートし、心身機能の維持と回復を促す「排泄リハビリケア」の実現を目指しております。

上記の事業活動に加えて、日本初の在宅介護での総合的な排泄ケア情報を提供するサイト『排泄ケアナビ』(<http://www.carenavi.jp/>) をオープンし、介護生活への貢献に注力しております。

海外では、台湾とタイにおいて『Lifree』ブランドの展開を加速するとともに、ヨーロッパを中心としたパンツタイプ紙オムツも順調に売上が伸びました。

クリーン&フレッシュ事業

当社がこれまで培ってまいりました不織布・吸収体技術を応用した製品を通じて、お客様へ清潔・安心・新鮮を提供するクリーン&フレッシュ事業では、一般用ウェットティッシュ『シルコット ウェットティッシュ』ブランドと、化粧パフ『シルコット』ブランドにおいて、No. 1のシェアを維持するとともに、当社がシートクリーナー『ウェーブ』のシート技術をライセンス供与し、ザ・プロクター・アンド・ギャンブル社が、北米において販売する「スウィッファードスターズ(Swiffer Dusters)」の売上也好調に推移いたしました。

2. ペットケア事業

国内ペットケア市場は、高齢化に伴うペット飼育世帯の増加等により、中長期にわたり成長が期待される有望市場であります。

この様な市場環境下において、本年3月発売した、ペットフード製品『ねこ元気 銀のスプーン』、『ゲインズパッケン 小型犬用』、『愛犬元気缶 11歳以上用』、『愛犬元気缶 角切り7歳以上用』、また、ペットトイレタリー製品『ユニ・チャーム ペットケア 薬用ノミ・ダニ ケアスポット』、『ユニ・チャーム ペットケア 1日1枚消臭抗菌スーパーデオシート』等、市場の創造と拡大を目指した新製品の貢献により、売上・利益ともに順調

に拡大いたしました。

3. その他事業

その他事業では、スーパーマーケット等を顧客とする食品包材事業を中心に、収益は堅調に推移しております。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は前期末に比べ 32 億円減少して、2,057 億円となりました。また、株主資本は、30 億円増加して 1,267 億円となりました。この結果、株主資本比率は、前期末の 59.2% から 61.6% に上昇しました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金と受取手形及び売掛金が合計で 65 億円減少し、有価証券が 31 億円増加しております。有形固定資産では、建物及び構築物と機械装置及び運搬具が合計で 32 億円増加し、建設仮勘定が 19 億円減少しております。

当期の営業活動で得られたキャッシュ・フローは、28 億円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益 77 億円、減価償却費 29 億円、売上債権及びたな卸資産の減少 28 億円、法人税等の支払い 89 億円、等によるものです。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、41 億円となりました。設備投資 46 億円が主たる要因です。

財務活動で得られたキャッシュ・フローは、短期借入金の増加 15 億円等により 6 億円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 1 四半期末残高は、前期末より 6 億円減少して 437 億円となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期、通期ともに、当初予想（平成 16 年 4 月 30 日公表）と変更ありません。

(添付資料)

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位 百万円)

科目	当第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前第1四半期末 (平成15年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	90,721	44.1	87,731	45.3	94,575	45.3
固定資産	115,004	55.9	105,939	54.7	114,426	54.7
1.有形固定資産	78,358	38.1	73,222	37.8	77,306	37.0
2.無形固定資産	2,676	1.3	3,152	1.6	2,903	1.4
3.投資その他の資産	33,969	16.5	29,563	15.3	34,216	16.3
資産合計	205,725	100.0	193,670	100.0	209,002	100.0
(負債の部)						
流動負債	60,458	29.4	59,964	31.0	66,874	32.0
固定負債	11,463	5.6	10,724	5.5	11,505	5.5
負債合計	71,921	35.0	70,688	36.5	78,379	37.5
少数株主持分	7,038	3.4	6,108	3.2	6,913	3.3
(資本の部)						
資本合計	126,764	61.6	116,873	60.3	123,708	59.2
負債、少数株主持分及び資本合計	205,725	100.0	193,670	100.0	209,002	100.0

四半期連結(要約)損益計算書

(単位 百万円)

科目	当第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		前第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)		前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	60,278	100.0	57,665	100.0	240,109	100.0
売上原価	33,171	55.0	31,602	54.8	132,074	55.0
売上総利益	27,107	45.0	26,063	45.2	108,035	45.0
販売費及び一般管理費	19,038	31.6	18,198	31.6	77,309	32.2
営業利益	8,069	13.4	7,864	13.6	30,726	12.8
営業外収益	343	0.6	486	0.9	1,593	0.7
営業外費用	213	0.4	230	0.4	1,199	0.5
経常利益	8,199	13.6	8,120	14.1	31,120	13.0
特別利益	8	0.0	367	0.6	797	0.3
特別損失	448	0.7	392	0.7	2,211	0.9
税金等調整前当期純利益	7,759	12.9	8,096	14.0	29,706	12.4
法人税等	3,130	5.2	3,599	6.2	12,103	5.0
少数株主利益	514	0.9	392	0.7	1,363	0.6
当期純利益	4,115	6.8	4,105	7.1	16,239	6.8

四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

（単位 百万円）

科目	期	当第1四半期 〔自 平成16年4月1日〕 〔至 平成16年6月30日〕	前第1四半期 〔自 平成15年4月1日〕 〔至 平成15年6月30日〕	前連結会計年度 〔自 平成15年4月1日〕 〔至 平成16年3月31日〕
		金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,889	7,414	36,915
投資活動によるキャッシュ・フロー		4,151	7,536	25,836
財務活動によるキャッシュ・フロー		625	918	7,933
現金及び現金同等物に係る換算差額		9	14	280
現金及び現金同等物の減少額		645	1,054	2,865
現金及び現金同等物期首残高		44,434	41,568	41,568
現金及び現金同等第1四半期末(期末)残高		43,788	40,513	44,434